

# 平成24年度 重点施策と重要事務事業の概要

平成24年度は、定住化推進、農業支援、健康づくりの3つを重点施策として位置付け、23の重要事務事業を展開します。

「定住化推進」は、広域交通の要衝という地の利や本市が有する豊富な地域資源を生かし、「住みよいまち 訪れてよいまち 笠間」を目指し、平成23年度まで行ってきまされた、子育て支援、少子化対策などの施策に、市街地の活性化、産業支援、雇用支援、住環境の整備などの新たな事業を加え、定住化を図る施策を総合的に取り組んでいきます。

「農業支援」は、農業は地域の地場産業という考え方のもと、農業経営の安定化、担い手の育成、グリーンツーリズムを推進し、引き続き農業の振興に取り組んでいきます。

「健康づくり」は、世界保健機関(WHO)が提唱する「健康都市」を目指し、人の健康づくりと、健康的な生活を支える都市環境づくりを進めるための「健康都市づくり運動」を展開するとともに、平成23年度に策定した、「笠間市健康づくり計画」を基に、市民が生涯にわたり、健康で元気に暮らせる地域社会を実現するための取り組みを行っていきます。

3つの重点施策、23の重要事務事業の概要は次のとおりです。

## 広域交流基盤を生かした 新時代のまちづくり 〔土地利用・都市基盤〕

### 1 都市魅力創造

#### ○岩間駅東土地区画整理事業

効率的な土地利用、健全な市街地の形成を図るため、岩間地区の新たな玄関口として整備を進めている駅東側について、土地区画整理事業を進めます。

#### ○岩間駅東大通り線(延伸部)整備事業

国道355号バイパスと岩間駅のアクセスを容易にし、岩間地区の活性化を図るため、岩間駅周辺整備にあわせて実施した岩間駅東大通り線を国道355号バイパスまで延伸する道路整備を進めます。



一部供用開始した岩間駅東大通り線

#### ○デマンド交通システム運行事業

公共交通空白地域の解消および高齢者を中心とした交通弱者における医療・福祉・商業施設等へのアクセス強化を図るため、「デマンドタク

### 3 定住化推進 重点施策

#### 市街地活性化

#### ○商店街活性化事業

商店街の活性化を図るため、商工会や商店会およびまちづくり団体等と連携し、市街地内の商店街活性化事業を実施します。

#### ○笠間稲荷門前通りまちづくり推進事業

永続的な観光の拠点となる笠間稲荷門前通りの賑わいを創出するため、おもてなしをする雰囲気づくりと歴史と文化に配慮した道路景観整備を推進します。

#### ○門前通り周辺拠点整備事業 新規

笠間稲荷門前通り周辺の魅力向上や人口の増加と賑わい創出を図るため、門前通りから稲荷駐車場にかけてのエリアに、観光の拠点を整備するための基本構想を策定します。

#### 産業支援

#### ○笠間焼陶芸家支援事業 新規

笠間焼陶芸家の技能向上を図るため、新進笠間焼陶芸家に対して発表の場を創出します。また、笠間焼陶芸家の定住化を促進するため、市内での創業や市内での修業する方に対して支援を行います。

#### ○中小企業緊急雇用安定支援事業

中小企業者の雇用環境を支援するため、労働者を同時に休業させた場合に、国の

中小企業緊急雇用安定助成制度を活用した中小企業事業主に対する補助を行います。

#### ○企業活動促進支援事業「市民雇用創出助成事業」拡充

市内企業の支援と地域経済の活性化を図るため、企業の市民雇用や労働環境改善のための投資費用に対する補助を行います。

#### 雇用支援

#### ○緊急雇用創出事業

離職した失業者等の雇用機会を創出するため、県の基金を活用し、地域の実情や創意工夫に基づき、雇用の場を創り出す事業を行います。

#### ○職に役立つ資格取得支援事業

市民生活の安定化および地域経済の活性化を図るため、非正規労働者・失業者・離職者・新卒者・個人の中小企業者の能力向上を目的に、職に関連する資格取得に係る費用の一部を補助します。

#### ○企業誘致・支援事業

地域経済の活性化と雇用創出を図るため、新規企業の誘致に努めるとともに、既存企業の事業拡大に関する支援を積極的に行います。また、中小企業事業資金融資制度として、保証料や利子補給の補助を実施します。

#### 恋人の聖地関連整備

#### ○ギャラリーロード歩道グレイ

## 多彩な交流で飛躍する活 力ある産業のまちづくり 〔産業〕

### 2 幹線道路整備事業

移動時間の短縮や市街地の渋滞緩和など市民生活の利便性の向上を図るため、主要な幹線道路(上町大沢線、笠間小原線、来栖本戸線)の整備を進めます。

シーかさま」を運行します。

#### ○景観研究事業(大学との連携によるトータルデザインの策定) 新規

市の魅力や地域の活性化を図るため、美術系大学との連携を通じて、市の景観に係る調査研究を実施します。

**ドアップ事業 新規**

恋人の聖地の拠点である笠間工芸の丘周辺の回遊性を高めるために、ギャラリロードの歩道の整備を推進します。



恋人の聖地モニュメント

**活性化支援**

**○移住促進セミナー事業 新規**

定住化促進を図るため、東京都内において、市の魅力を発信するセミナーを実施します。

**4 地域資源活用事業**

**○観光PR戦略事業**

笠間の知名度アップと新規観光客の増加を図るために、観光協会および観光関連団体と連携し、北関東自動車道利用者や茨城空港利用者に対して観光PRを実施します。さらに、観光客の受け入れ体制の充実を図り、通年滞在型の観光を推進します。

**○地域産業支援事業**

伝統と個性ある笠間焼を支援するため、他産業と協力しながら笠間焼を観光資源

として活用し、笠間焼協同組合等と連携したPR活動を実施します。また、みかげ石の新たな販路拡大を図るため、石材組合等の関係団体を支援し、他産業への利用拡大の推進やイベント等でのみかげ石のPR活動を実施します。



ストーンエキシビジョン

**5 笠間のいなり寿司推進事業**

笠間の食を目的とした本市への来訪者の増加を図るため、ご当地グルメ「笠間のいなり寿司」を活用し、市のPRに努めます。



B級ご当地グルメサミットin笠間

**6 農業支援 重点施策**

**経営の安定化**

**○遊休農地活用緊急対策事業**

**【拡充】**

農家の高齢化や担い手不足など、年々増加する遊休農地の解消および農地の再生生活を推進するため、地域の農業担い手が遊休農地の再生・復元を行う経費と、その農地に作付けする経費の一部を助成します。

**○主要農産物生産振興支援事業**

**【拡充】**

主要農産物である「栗・梅・花き」の生産振興を図るため、生産組織等が行う独自の取り組みおよび生産体制の強化を支援します。

**○地場農産物PR事業**

地場農産物の普及拡大を図るため、優れた農産品を地域ブランド「かさまの粹」に認証し、地域農業の競争力の強化や消費者等への広報宣伝活動を推進します。



「かさまの粹」認証農産物

**○地場農産物振興拡大事業**

農産物の生産振興と地域活性化を図るため、「食育と連携した地産地消の推進」「付加価値を高める商品開発・研究」を実施します。

**○基盤整備事業(稲田大古山地区) 新規**

農業生産性・効率性および地区内の生活基盤の改善を図るため、JR水戸線稲田駅南側に位置する大古山地区(約8ha)について、基盤整備事業を実施します。

**担い手の育成**

**○担い手対策強化促進事業**

農地の適正活用と持続性の高い担い手を確保するため、集落営農組織および認定農業者の育成強化を推進します。

**○新規就農総合支援事業 新規**

生産者の高齢化や担い手不足等を解消するため、就業意欲の喚起など、青年新規就農者を確保する支援を実施します。

**グリーンツーリズム**

**○グリーンツーリズム推進事業**

都市住民と地域住民の交流促進による地域活性化および定住化促進を図るため、本市が有する豊かな農村資源を活用し、グリーンツーリズムを推進します。

共に支えあい、健やかに暮らせるまちづくり  
〔健康・福祉〕

**7 子育て支援・少子化対策**

**子育て支援**

**○次世代育成支援対策事業**

少しでもゆとりを持った子育てができるよう、緊急時も対応できる一時預り保育サービスに対する支援を実施します。

**○地域子育て支援拠点事業**

児童の健全な遊び場の確保と心身の健康を増進し、情操を豊かにするため、地域の子育て支援センターを運営します。

**○児童館運営事業 新規**

家庭や地域における子育て中の親の孤独感・不安感を解消するため、子育て支援の拠点として「笠間市児童館(笠間キッズ館)」を設置し、子育て親子の交流等を促進できるように幅広く事業を展開します。



4月1日にオープンした笠間市児童館(笠間キッズ館)

## 少子化対策

### ○特定不妊治療費助成事業

不妊に悩む方の経済的負担の軽減を図るため、特定不妊治療に要する費用の一部（通算5年、1年度当たり2回、限度額10万円）を補助します。

### ○出会い創出支援事業

次世代を担う男女の出会いを創出するため、市内団体が実施する出会い創出事業に要する経費の2分の1以内（限度額10万円）を助成します。また、「いばらき出会いサポートセンター」の入会に対する助成（入会金の2分の1以内）を行います。

## 8 健康づくり 重点施策

### 健康づくり推進事業

#### ○健康都市づくり事業

市民の一体感の醸成や「安心」なまちづくりを推進するため、WHOが提唱する健康都市の理念に基づく市民総ぐるみ運動を展開します。

#### ○地域の健康づくり事業

生活習慣病の予防のため、健康体操や食生活改善の普及に努めます。また、健康づくり市民運動を発展させるため、ヘルスリーダーを養成し、各地域、市民各層において幅広く健康づくり運動を展開させ、展開します。



健康体操

#### ○健康増進事業 拡充 (健康診査・がん検診等)

市民の疾病早期発見のため、健康診査やがん検診を実施します。また、生活習慣病予防のため、食生活指導や運動指導などの保健指導を実施します。

#### ○国民健康保険人間ドック・脳ドック事業 拡充

国民健康保険加入者（40～74歳）の健康を保持・増進するため、笠間市国民健康保険生活習慣病予防健診補助金（人間ドック、脳ドックの健診費の一部）の交付を行います。

#### ○予防接種事業

感染症の発生とまん延を防止し、公衆衛生の向上と市民の健康維持を図るため、予防接種事業を推進します。

### ○電話健康相談「かさま健康ダイヤル24」事業

健康、医療、子育て、介護などの不安を解消するため、家庭に居ながら電話で専門家に相談できる24時間体制の健康相談事業を実施します。

### 医療福祉の充実

#### ○医療福祉費助成事業

妊産婦・小児・児童・ひとり親家庭（母子・父子家庭）の母子および父子・重度心身障害者等の健康保持増進と経済的な軽減を図るとともに、福祉の向上に寄与するため、医療福祉費を助成します。

#### ○市立病院平日夜間・日曜初期救急診療事業

市民が安心して暮らせる地域社会づくりを推進するため、救急医療体制の充実強化を目指して、平日夜間・日曜初期救急診療を実施します。

#### ○筑波大学病院連携事業 (指導医・研修生受入)

地域医療に従事する医師の養成と地域医療の充実を図るため、筑波大学附属病院との連携により、市立病院に地域医療研修ステーションを設置します。

#### ○市立病院医療体制充実事業

公立病院としての役割を果たす常勤医師を4月から1名増員し、3名体制とし、入院・外来患者の増加や在宅医療

を支える訪問診療を積極的に行います。

### 9 障害者地域生活支援事業

障がい者および障がい児がそれぞれの地域で自立した日常生活や社会生活が送れるようにするため、地域の特徴を生かしたサービス体制をつくり、さまざまな支援やサービスの充実を図ります。

### 自然と共生した安全でやさしいまちづくり 【生活環境】

#### 10 住環境整備

##### ○空き家再生モデル事業 新規

増加する空き家の利活用を推進し、地域の活性化を図るため、現在空き家となっている「里中邸」を伊東豊雄氏監修のもと修繕し、空き家の利活用モデルとして運用します。

##### ○住宅用太陽光発電システム・住宅用エコキュート設置補助事業

新エネルギーの有効利用を図り、地球温暖化防止と環境にやさしいまちづくりを推進するため、住宅用太陽光発電システムや住宅用二酸化炭素冷媒ヒートポンプ給湯器を設置する経費の一部を補助します。

##### ○被災住宅復興支援事業 新規

被災者の負担を軽減するため、東日本大震災により大

規模半壊以下の判定を受けた自宅の補修等のため金融機関から資金融資を受けた方を対象に市が一部利子補給を行います。

#### 11 狭い道路整備等促進事業

歩行者の安全確保や緊急車両の進入を容易にするなど、生活基盤の向上を図るため、日常の生活を支える幅員4m未満の生活道路の拡幅改良を行います。

#### 12 生活排水対策事業

市民生活の向上および自然と共生する環境の維持・保全に向けて、効率的な排水処理を進めるため、生活排水ベンプランに基づき、公共下水道をはじめ地域の特性に応じた生活排水対策事業を推進します。

#### 13 笠間地区市街地浸水対策事業

近年のゲリラ豪雨による浸水被害を未然に防止するため、笠間地区市街地の排水整備を実施します。

#### 14 上水道安定供給事業

市民生活と地域産業を支えるため、適正な管理運営を推進し、安心・安全な水の安定供給を図ります。

#### 15 防災力向上事業

○地域防災計画改定事業  
風水害等の自然災害、大規

模地震災害、原子力災害等に対応するため、地域防災計画を見直し、総合的かつ計画的な災害対策を推進します。

○自主防災組織育成事業

災害時等の住民による初期消火や避難体制などの整備強化を図るため、住民自らが防災活動を行う自主防災組織の結成費や活動事業に対し助成を行います。



資機材を確認する自主防災組織の皆さん

○笠間市総合防災訓練事業

大規模な災害発生時の迅速かつ的確な応急対応を構築するため、総合防災訓練を実施し、防災関係機関相互の緊密な協力体制を強化するとともに、市民の防災に対する理解と防災意識の高揚を図ります。

○防災行政無線の統合化推進事業

災害時の避難情報など、情報伝達手段を強化するため、

3地区で統合されていない現行の防災行政無線の周波数を統合し、円滑な通信体制を構築します。

○防災拠点(市役所本庁舎)非常用自家発電設備整備事業

新規

防災拠点の機能確保のため、災害発生時に災害対策本部となる市役所庁舎に停電時における非常用発電装置を設置します。

16 民間救急ボランティア応急手当普及啓発活動事業

市民と協働で応急手当啓発活動を行い、応急手当の大切さを普及するため、民間救急ボランティア応急手当普及員を育成し、普通救命講習会の開催、市主催イベント・スポーツ大会に救急ボランティアとして派遣します。

人が輝き、豊かな文化を創造・発信するまちづくり [教育・文化]

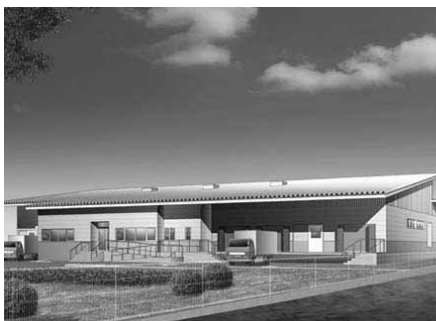
17 小中学校施設耐震化事業

児童生徒の安全確保と施設の適正な維持管理を行うため、学校施設の耐震化を進めます。

18 笠間学校給食センター整備事業

学校給食衛生管理基準による管理体制の強化を図るため、老朽化した笠間学校給

食センターの建替えを行います。



笠間学校給食センター完成予想図

19 教育施設災害復旧事業

市民の文化・体育の振興を図るため、東日本大震災で被災した市民体育館および友部公民館の復旧および耐震補強を行います。また、友部公民館は当該工事にあわせ、大規模改修を行います。

20 学力・文化向上事業

○寺子屋事業 拡充

学力の向上・学習意欲の高揚を図るため、小学校高学年を対象に学校の休業日を利用して、学習の機会と場をつくり補習を行う寺子屋事業を実施します。

○学力向上支援事業

市内小中学校の学力の向上を図るため、学校が自主性を発揮し、児童生徒の実態を踏まえた教育活動を推進します。

○青少年劇場小公演事業

児童の創造性をより高めるため、アーティストと身近にふれあうことができる音楽講演会を小学校を対象に実施します。

○高齢者芸術鑑賞事業

市民への文化振興を図るため、65歳以上の市民を対象として、笠間日動美術館および春風万里荘の入館料を無料にする事業を実施します。

21 ウォーキング教室事業 新規

市民の体力向上と健康の保持や増進のため、ウォーキング教室を実施します。

人と地域、絆を大切にしたい 元気なまちづくり [自治・協働]

22 協働のまちづくり推進事業

協働のまちづくり推進 市民と行政の連携と協働によるまちづくりを推進するため、市民の経験や能力を市政に生かし、「協働のまちづくり推進指針」に基づいた取り組みを進めます。

○地域ポイント制度事業(社会実験)

市民参加機会の拡充や新たな人材確保・人材育成を図るため、市民が行う公共的活動や社会貢献活動にポイントを付与し、地域の商品と交換

したり、希望する行政施策の実施や活動団体の支援に使うことで、やりがいや楽しさを創出する地域ポイント制度の導入にあたり、課題を整理し、制度設計するための社会実験を実施します。

○まちづくり市民活動助成事業

市民活動の活性化を図るため、地域の特性を生かし市民自らがまちづくりの主体となる団体が活動するための必要な経費に対し、まちづくり市民活動助成金を交付します。



100km徒歩の旅 感動のゴールの瞬間

23 収納率向上対策事業(徴収対策事業)

自主財源確保の重要性や税負担の公平性をさらに確保するため、笠間市税等収納特別対策本部による全庁的な取り組みを中心に、納付催促や訪問、財産調査、差押等の滞納処分を実施し、市税等徴収率の向上を図ります。